

知的資本  
の強み

超精密機械加工技術を  
幅広い製品に展開

強み1 超精密機械加工技術

ミネベアミツミは、祖業であるボールベアリングについて、ミニチュアサイズ故の超精密、かつ大量生産に必要な超精密加工技術を70年近くにわたり自社内で磨き上げ、2018年には月産3億個を超える生産を達成しています。当社の特長である超精密機械加工技術では、ナノメートルオーダー（1ナノメートルは10億分の1メートル）の加工寸法を自在に制御する必要があります。ナノメートルの加工精度を常に品質維持できるように加工用刃物、研削油、

設備から環境に至るまで、先端加工技術開発を自社内で完結しています。

また、顧客や市場ニーズに応えるため、使用原材料の開発も社内で行い、将来製品に必要な新規材料の基礎開発も行い、部品メーカーとして類を見ないものづくり体制を確立しています。これまで培ってきた超精密機械加工技術の経験と実績データは膨大なビッグデータとして社内の機械加工製品、ならびに他の製品へ横展開されています。



強み2 製・技・開・販の総合力

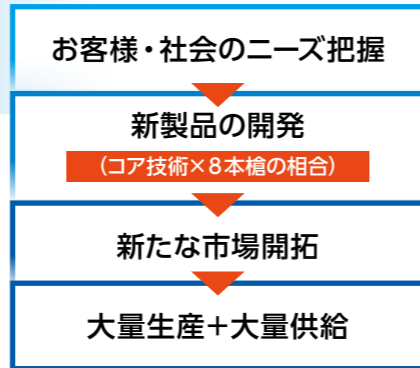
「コア技術」と「8本槍製品」の相合による製品開発

研究開発投資の拡大に加え、製造・技術・開発・営業の総合力により、新たな市場を開拓していきます。

2018年12月に中国テクニカルセンター、2019年9月に欧州技術センターを設立し、各地域でのスピーディな開発体制を強化しています。



中国テクニカルセンター 欧州技術センター



常識を超えた「違い」で  
新たな価値の創造

強み3 M&A 遂行力・PMI の維持・向上

当社は49年で50件のM&Aを通じて事業ポートフォリオの強化と見直しを行ってきました。2017年に経営統合したミツミ電機は経営統合により、資金力・徹底したものづくりへのこだわり、製造力を手に入れ、スピードや技術力、製品自体のグレードアップを実現しました。

例えば、最先端の技術開発に取り組む磁気回路のシミュ

磁力が拓く世界

ガリレオX 2020年6月28日放送  
磁力をテーマに、ミネベアミツミの  
経営統合によるシナジーを紹介。



レーションにおいては、旧ミネベアとミツミのシミュレーション技術の融合によりシナジーを発揮しています。さらに、2020年4月には磁気をセンシングするホール素子を主力製品とするエイブリックを統合しました。これにより、ミネベアミツミの磁気製品に、磁気のセンシング技術を加えることができ、競争力のさらなる向上を図っていきます。

知的資本  
の戦略

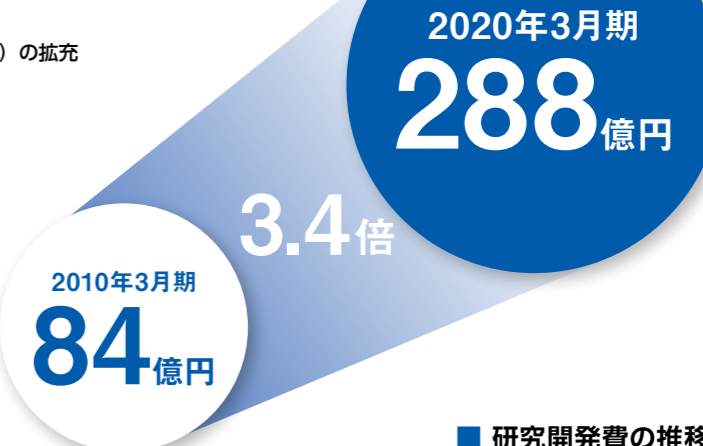
超精密機械加工技術とコア技術を  
相い合わせ新しい価値を創出

戦略1 コア技術の拡充と新製品投入を推進

ミネベアミツミの技術開発方針として、

- 中長期的に市場で勝てる新製品開発に必須な要素技術（コア技術）の拡充
- グループのシナジーを有効活用し、新製品の投入推進を掲げ、以下の重点戦略に取り組んでいます。

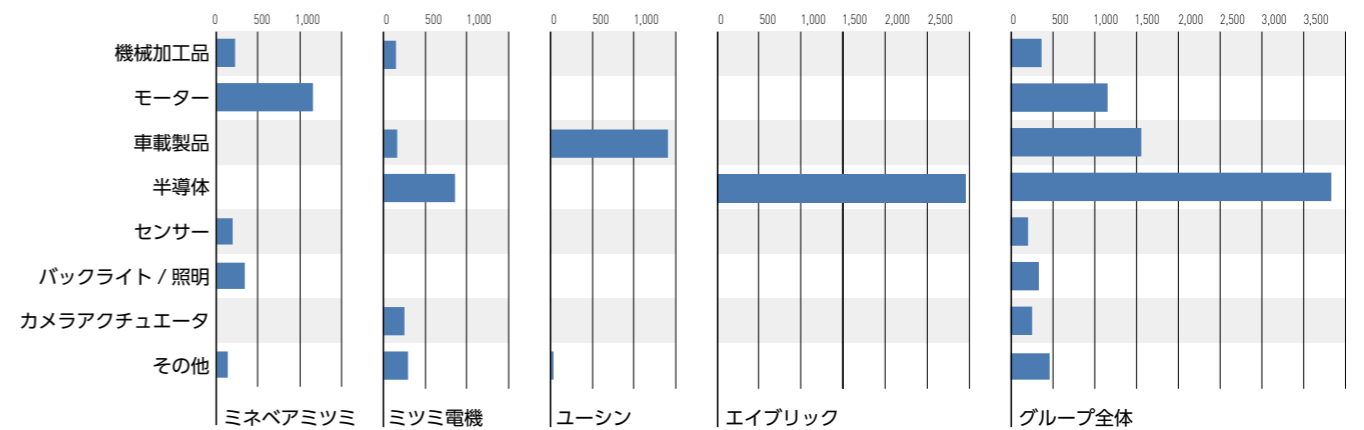
1. モーター事業拡大
2. 光学開発 製品群のパラダイムシフト
3. センサー事業の拡大
4. ロボティクス市場参入
5. IoTを見据えたコネクティビティ
6. 機械加工品付加価値向上
7. ユーシンコラボレーション
8. エイブリックコラボレーション



■ 研究開発費の推移

戦略2 知的財産管理の効果的なポートフォリオ推進

ミネベアミツミグループとして、約8,000件の特許権を保有し、その分布は下図のようになっています。ミネベアミツミ、ミツミ電機、ユーシン、エイブリックが補完し合い、グループの事業をカバーする効果的なポートフォリオを形成しています。



「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参画

当社は、世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルス感染症まん延の終結宣言を行う日までの間、新型コロナウイルス感染症のまん延終結を目的とした開発・製造などの行為に対しては、一切の対価や補償を求めず、当社が保有する特許権、実用新案権・意匠権・著作権の権利行使を行わないことを宣言しています。

